

徐々に規模が拡大。うと思つた時期もある、近所の子どもからはやらないの」と寂聞かれ、再チャレンめたという。

毎年進化しており、約13坪のポールを立ンテナの柱とともに状にツリー状のイルションを施した。イーションはほとんどダイオード(LED)2万個の光が暗闇に上がる。

で沈んだ気持ちに明を―と、点灯開始に続き豚汁サービス会などのイベントも

## 「来年の全国大会支援を」

### 郡山きょうされん実行委市表敬

来年9月に郡山市で開かれる、きょうされん第36回全国大会 in 東北・ふくしまで、同実行委（大和田新実行委員長）は25日、郡山市役所に原正夫市長を表敬訪問した。

本県初開催となる同大会は「ここから『つたえつなぎ はじめろ』」をテーマに来年9月21、22の両日、郡山市の郡山ユラックス熱海で開かれる。県内外から

約2500人が出場するほか、県内からボランティア約1500人が参加予定。



原市長に全国大会開催を報告した白石副実行委員長（左から2人目）

基調報告や分科会、シンポジウムなどが開かれる。

市役所には副実行委員長の白石清春JDF被災地障がい者支援センターふくしま代表らが訪れ、原市長に大会開催を報告するとともに会場内のバリアフリー化と大会後援などを要望した。これに対し、原市長は「できる限りの対応を検討したい」などと述べた。

「きょうされん」は1977（昭和52）年に「共同作業所全国連絡会」という名称で結成された団体で2001年に名称変更。現在は全国で約1900事業所、県内で39事業所が加盟し、小規模作業所だけでなく、グループホームや就労継続支援事業所など、幅広い分野で施設間のネットワークを構築している。



全日空が「八重の桜」の放送開始に合わせ、来年1月14日から12月までの予定で全国各地で就航するラッピングジェットのデザイン